

# ACANTHUS



## 特集

## ありがとう志度 & 香川キャンパス

## Index

学長挨拶.....	2	研究紹介.....	22
高松駅キャンパス 上棟式 .....	3	アカンス会だより.....	23
2025年4月 経営学科設置構想中！ .....	3	2024年度 保護者会.....	26
<b>【特集】</b> ありがとう志度 & 香川キャンパス .....	4	2023年度末 退職者一覧.....	26
MONTHLY NEWS 2023-2024 .....	10	村崎学園紹介.....	27
<b>【連載】</b> 学科教員紹介 (徳島・香川) .....	18		





学長 田村 禎通

本学は、2025年の学園創立130周年に向け、『あなたの未来を創る 徳島文理大学』をブランドスローガンと制定しました。「あなた」は、学生はもちろん地域の人も含みます。

2025年は、香川キャンパスがJR高松駅横に移転する年でもあり、四国に2つの玄関口をもつ大学として、さらなるブランド力の向上をめざします。

130周年に向けて特に力を入れているのが“地域のニーズに応える特色ある教

育・研究”です。9学部が連携し、地域の健康や福祉、教育・食料・災害・公共政策など、SDGsに寄与する教育・研究を展開しています。

わが国は、高度情報化時代を迎え、ビッグデータの処理・解析に精通するため、AIを駆使できる数理・情報基礎力は文系・理系を問わず必須となっています。こうした情勢を背景に、本学は、2023年度から全ての新生に文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」に準拠した教育プログラム（リテラシーレベル）を実施しています。その上に「応用基礎レベル」を理工学部の全学生と人間生活学部で選択科目として実施しています。

また、本学はこれまで「社会人の学び直し」を意味するリカレント教育に積極的に取り組んできました。とくに新しい技術やスキル、知識の付与を行うリスキリング教育は、本学の専門分野をいかして実施しています。主なものを取り上げますと、薬剤師のための「和漢薬講習会」、保育士対象の保育セミナー、公認心理師・臨床心理士のための「心理臨床研究会」、理学療法士のための「認定理学療法士臨

床認定カリキュラム研修」では、脳卒中・呼吸・地域理学療法・介護予防の4分野で実施しています。今後、社会人向けにAI・データサイエンス教育を実施する予定です。

2017年、京都大学こころの未来研究センターの広井良典教授らがAIを活用し、2050年までの日本の行く末のシミュレーションを行い、政策提言をしました。約2万通りのシナリオが検証され、その結果2050年に至っても日本が健康を維持できる唯一のシナリオは、10年以内に都市集中型から地方分散型社会に方向転換すること、さらにその後20年をかけて政策転換を行いながら地域内の経済循環が十分に機能するようにしなければならないというシナリオでした。

30年後の日本の持続可能性を確保するために、地方の大学が果たすべき役割は、地域の将来を担う人材の育成です。地域を愛し、自ら動く人がいなければ分散型社会の拠点にはなれないでしょう。

本学は、地域分散型社会の一翼を担うことができるよう、教育・研究・地域活動を通じてその社会の実現に貢献できる人材の育成を行っていきます。

## 高松駅キャンパス 上棟式



2024年2月16日(金)、高松駅キャンパスの上棟式が建設予定地の高松市浜ノ町で行われ、学園関係者、設計・施工関係者ら約80人が参列しました。

はじめに神事が行われ、宮司が祝詞をあげた後、関係者が玉串拝礼を行い、高松駅キャンパスの完成までの安全を祈願しました。その後、建設現場に移動して棟上げ。

本学をはじめ工事関係者によりボルトとナットで鉄骨を締めた後、地上18階まで鉄骨を吊り上げて無事に完了しました。完了後は関係者への感謝を込めて餅まきが行われました。

今回の上棟式はテレビ・新聞など報道関係の取材が9社あり、都市型キャンパスとしての注目度も高いようです。

祝賀会では村崎理事室長や関係者の挨拶、これまでの高松駅キャンパスの建設経過の様子がスクリーンに映し出されました。祝賀会も盛況のうちに時間となり、閉会の言葉で無事終えることができました。さあ、いよいよあとは完成を待つばかり。高松駅キャンパスは2024年7月末には工事が完了する予定です。



2025年  
4月

### 経営学科設置構想中!

高松駅キャンパスへの移転に合わせ、新たに総合政策学部経営学科（定員80名）の開設を予定しています（設置構想中）。総合政策学部経営学科は、経営学をとおして地域の課題に解決策を見いだし、その持続的な発展に貢献できる地域のプロフェッショナルを育てます。経営全般を理解し、他者と協同し多面的・多角的な視点で取り組む能力を身につけたい人におすすめです。

総合政策学部  
**経営学科**  
2025年4月 開設予定  
徳島文理大学

サポートエリアでオープンキャンパス開催!

OPEN CAMPUS 2024

徳島文理大学 高松駅キャンパス

日時	4.27(土) 6.22(土)	経営学科 新設学科
	8.4(日) 8.24(日) 9.22(日)	新設学科
会場	サポート高松 サンポート高松 サンポート高松 2F 高松駅前ビル	

お申し込みは  
コチラから!

## 2024年度の香川キャンパス オープンキャンパスは「サンポート高松」で開催!

2025年度の入学学生は1年次から高松駅キャンパスで過ごすため、香川キャンパスを利用することはありません。そのため2024年度のオープンキャンパスは高松駅キャンパス近くのサンポートエリアを中心に、オープンキャンパスを開催します。シンボルタワーとホール棟で大学概要や学科説明、体験授業を実施、また今しか見ることのできない建設中の高松駅キャンパスの見学も可能です。昼食は2024年3月にオープンしたばかりの高松オルネでのランチチケット（1,000円分）をプレゼントと、今年度限定のオープンキャンパスを企画しております。

高松駅キャンパスの一期生になれるチャンスです。変わりゆくサンポートエリア周辺を含めた大学生活をイメージし、多くの高校生に足を運んでいただきたいと思います。

02

30

40年の歴史

ありがとう  
志度 &  
香川キャンパス

1983（昭和58）年の開学以来、多くの学生・教職員とともに歴史を刻んできた香川キャンパス。2025（令和7）年3月をもってその役割を高松駅キャンパスにバトンタッチいたします。香川キャンパスの春夏秋冬の中で青春を過ごした卒業生の皆さんや、ここで日々学生とともに時間を過ごし、業務に励んだ教職員の皆さんに振り返っていただきたく特集ページを企画したところ、多くの教職員から写真やコメントを頂戴いたしました。

40年以上の歴史の中で、どんどん新しい学び舎が増築され、変貌を遂げてきた香川キャンパス。時代の移ろいとともにそれぞれの志度を懐かしんでみてください。



4月に咲く桜、入学生をお迎えするとより一層華やかに感じる桜たち。花見をしていた学生たちの姿。風が吹くと桜吹雪もきれいでした。皆で見られる香川キャンパスの桜も今年で最後です。



右も左も分からなかった入学式、迷路のような建物、友人がいたから楽しく過ごせた学生生活。あれから数十年、涙あり、笑いありで思い出もたくさんできました。長年過ごした香川キャンパスのことはいつまでも忘れられません。



たくさんの入学生をお迎えし、たくさんの卒業生が巣立っていきました。10代だった子どもたちは20代の大人になり、就職。学生たちは香川キャンパスとともに成長しました。

1990年ごろの学生寮（女子寮）は2人部屋を4人で使用し、入浴時間・門限の制限が厳しかった。



友人や研究室の仲間、すばらしい恩師に出会えたこと、そして大学職員として過ごせたことを誇りに思います。ありがとう香川キャンパス。



香川キャンパスでは、めったに見ることができない雪景色。キャンパスも銀世界になり、雪だるまを作る学生も。来年の冬は雪が積もるかなあ。



大学西側の志度湾の夕陽が沈むころの海の眺めは最高。高松駅キャンパスが遠くに見える。





志度で学び、志度で勤め、早30年。4月の入学式には写真撮影に絶好スポットの桜、秋には数十本のメタセコイアが紅葉し、海からの青色爽快感を感じる自然豊かな香川キャンパス。社会人1年目には自分の無力さが悔しくて涙を流したこともあります。その悔しさ以上に楽しい思い出は数えきれないほど。



僕の顔を見ると何も言わずにご飯を大盛にしてくれていたな。食堂の方ありがとう。

鶏のから揚げが懐かしい。よく食べていたな。

食堂の建物はかわってないが、以前は利用する学生が多く空席がないほどの盛況ぶり。キャンパス周辺は坂道なので、敷地内から外へ出ず食堂を利用する学生が多数。



リサーチ&メディアライブラリー完成前の空き地には大学犬が住み着いていた。



音楽学部管弦打楽器専攻の学生と熊谷先生の独唱で、国歌と大学歌を演奏していました。帰りに津田の松原でうどんとアイスを食べるのが毎回恒例でした。



第60回記念の定期演奏会では、ブラームス交響曲第2番などを演奏し、重厚かつ華々しい演奏で客席を魅了しました。むらさきホールとは違った響きがある村崎サイメモリアルホールでの演奏は貴重な経験となりました。



オープンキャンパスの前身のイベント。多くの高校生が足を運んでくれました。



講義棟の中庭にフクロウ出現。フクロウが住み着いたおかげで鳩激減。



入学式・卒業式を、以前は体育館で行っていた。学生・保護者・教職員用のパイプ椅子を並べて会場準備を行った。

杏樹祭と同時に学生・教職員のソフトボール大会を開催。グラウンドは志度総合運動公園野球場（理工学部側東門からでた所）を使用。



香川キャンパスの忘年会は、毎年サンマリエフジで開催。教職員で楽しいひと時を過ごしました。



### 1980年代の香川キャンパス

志度の高台にある広大な土地は最初、このような感じでした。時代のニーズに合わせ、どんどん校舎が建ち、発展いたしました。





大学構内にさぬき市コミュニティバスが入ってくるようになり、さらに便利に。無料で利用できるの学生に好評(通常1人1乗車200円)。



学園創立110周年記念ホームカミング。多くの卒業生とご家族が学び舎に集い、とてもにぎわいました。



香川キャンパスは2025年3月31日をもって40年余りの歴史に幕を閉じますが、4月1日より新たに高松駅キャンパスとしてスタートします。思い出の詰まった香川キャンパスから新たなステージである高松駅キャンパスへバトンタッチです。徳島文理大学の思い出のページをまたひとつ増やしていきたいです。



休み時間、友だちとよく使っていた藤棚のベンチ。花が咲くと綺麗だった。

村崎サイメモリアルホールでの講義は、あの階段教室が大学っぽくてワクワクした。



広いキャンパス。急いでるけど気持ちばかりが焦り体は追いつかず、自転車があれば…と何度も思いました。



中央研究棟の廊下を照らす朝日。あと何回見られるだろう。



卒業生集まれ!  
杏樹祭最後だよ!!  
全員集合~!

# 第39回 杏樹祭

2024年10月19日(土)・20日(日)



四季の花咲き風薫る。深紅の夕陽に浮かぶ屋島と五剣山。紺碧の空を掬い取った志度湾。健康のパロメーターとなる長い坂道。丘の上に聳立つキャンパスで、青春を刻んだ私たちには懐かしくおなじみの風景です。入学式には桜が満開となり、クリスマスにはロマンティックなイルミネーションが輝きました。時代は「昭和」「平成」「令和」へと移り変わり、それに付随するように本学でも新しい学部が増え、学内にも学舎が増えました。

さて、ご存じかと思いますが、香川キャンパスは2025年4月から高松駅横に移転し、新たな足跡を刻むこととなります。一つの節目を迎えるこの機会に、同級生・知人をお誘い合わせの上、香川キャンパスを訪ねてみませんか。1986年から始まった杏樹祭(大学祭)も、今年で第39回を迎えます。残念ながら思い出の詰まったこのキャンパスで行う最後の杏樹祭となります。杏樹祭実行委員会では、同窓生ならびに地域の方々への感謝の気持ちを込め、従来の内容をさらに充実させて皆さまをお迎えいたします。それぞれの世代でそれぞれの想いを感じ、お互いに交流することで、卒業生と在学生のご縁を大切にしたいと思います。思い出多き丘の学舎へぜひお越しください。在学生および教職員一同歓迎いたします。



ぜひお越しください!!



詳しくは、大学HPやInstagramで追ってお知らせいたします。多くの方のご参加を心よりお待ちしております。また、団体・個人を問わず大学祭への協賛をご希望される方がいらっしゃいましたら、香川キャンパスまでご連絡ください。



## MONTHLY NEWS 8月

### 阿波おどり夏本番！ 棧敷で披露



私たち徳島文理大学連は、「元気に明るく、学生らしく」をモットーに日々練習に励んでいます。

夏の本番では、棧敷の他にもさまざまな場所で踊らせていただき、とても楽しく良い経験となりました。台風の影響で「選抜阿波おどり」に出演することができず悔しい思いもりましたが、最終日まで踊ることができました。また、コロナ禍が明けたことで多くのイベントにも参加させていただけるようになり、連員一同練習に力が入っています。

見てくださる全ての方に喜んでいただけるよう、これからも全力でがんばります。



### ローバッカー博士による音楽療法 集中講義を4年ぶりに開催

音楽療法の世界的権威で本学名誉博士のマイケル・ローバッカー先生による集中講義を、7月29日(土)～8月4日(金)にわたり音楽学部で開催しました。

同じく音楽療法士であるスザンヌ夫人も共に来学され、4年ぶりとなる対面授業と実習での直接指導が実現。8月1日(火)には、徳島県障がい者芸術・文化活動支援センターとのコラボレーションで音楽療法体験ワークショップを文化の森で開催。ローバッカーご夫妻のリードのもと学生も参加して、徳島県下約50人を対象に音楽活動を4セッション行いました。

学生たちは知識や技術を学んだだけでなく、お二人が奏でる音楽やお人柄にも魅了されていました。



Let's enjoy music!

## MONTHLY NEWS 9月

### 上板町「STOPフレイル! with 徳島文理大学」開催

9月17日(日)に「STOPフレイル! with 徳島文理大学」が上板町農村環境改善センター(上板町七條)で開催されました。本学から教職員16名と学生33名が参加し、ご来場いただいた上板町の方々にフレイル予防に取り組んでいただきました。

ブースでは、理学療法学科による「足腰の達者度チェック」、口腔保健学科による「歯医者さんのお口何でも相談室」、短期大学部生活科学科食物専攻による「食生活相談・ベジメーターで野菜摂取量チェック」を実施。ステージでは、理学療法学科の鷲春夫教授による「フレイルを予防し、元気で長生き」、口腔保健学科の中江弘美准教授による「みんな一緒に口から健康、口体操!」、短期大学部音楽科音楽療法コースによる「STOPフレイル! START ミュージック! in 上板」などのイベントが行われました。



### スウォン 徳島文理大学・韓国水原大学校 音楽学部交流演奏会開催

9月25日(月)、音楽学部は管弦打楽器専攻生を中心に、韓国の学術交流協定校 スウォン 水原大学校(華城市)を訪問し、交流演奏会を開催しました。両大学音楽学部による交流演奏会は、2015年以来これまでに4回行われています。今回の交流演奏会は水原大学校と本学の交流10周年を記念して催されたものです。

指揮者の三宅孝典先生率いる音楽学部生と専攻科生ら26名に、水原大学校音楽学部生50名が加わり、マルケス作曲「ダンソン第2番」ほか、世界の民族舞曲をテーマとする9曲を披露しました。

水原大学校創立41周年記念行事としても注目をあびた今回の演奏会は、合同練習の時間が4～5時間程度だったにも関わらず、両大学学生たちの息の合ったハーモニーで約800人の聴衆を沸かせました。

参加した音楽学部4年の巻島彩花さんは「コロナ禍の大学生活でしたので、演奏活動が希望どおりにできず悔しい思いをしていたのですが、最後に素晴らしい思い出を残せて本当に良かったです。韓国の学生はパワーがあり、演奏会では言葉が通じなくても音楽をとおして楽しく交流することができました。親切にくださった水原大学校の皆さんに感謝し、この経験をこれからの音楽活動にいかしていきたいです」と感想を述べました。

演奏団は、9月24日(日)～27日(水)までの4日間韓国に滞在し、水原大学校見学・学生間交流・ソウル市内研修などを体験しました。今後もさまざまなイベントをとおして、両校の交流を継続していきます。



## MONTHLY NEWS 10月

### 佐藤一石教授が 超音波工学フェローに認定

ナノ物質工学科の佐藤一石教授が、10月1日(日)に公益社団法人日本超音波医学会より、超音波工学フェローに認定されました。

超音波工学フェローは、超音波に関連する基礎および応用についての理工学の学識と経験が専門レベルにあり、研究・開発および指導できる理工学研究者に付与されるものであり、今後の超音波医学における関連学問領域の研究と学術的発展に大きく貢献する使命を担うものです。

佐藤教授は、超音波診断装置の評価に用いる生体組織近似材料の研究開発のみならず、その成果の実用化をめざした取り組みも実施しています。超音波診断装置用ファントムとは、人体の皮膚や筋肉組織と同じ超音波特性をもつ素材(生体組織近似材料)からなる超音波診断装置の性能評価をする試験体です。主に超音波診断装置の精度管理、医師・医療技術者の技術訓練、超音波を使用する医用研究等に利用されています。



認定されました!



この中に生体組織近似材料が入っています。

### 学生考案 オリジナルキャラクター 「あおさん」 表紙の 記者発表は コレ!

### あおさのりスイーツプロジェクト 進行中! ~「あおサブレ」販売へ~



あおさの魅力をもっと知ろう!

薬学部と短期大学部生活科学科生活科学専攻のコラボレーションにより昨年スタートした「あおさのりスイーツ」開発。美味しさと健康、そして「これまでになかった味」を追求した結果、2023年度はタルト・バターサンド・チョコレートを学生が発案しました。

10月21日(土)の短大フェスタにて、薬学部の山本博文教授によるミニ講演の後、試食会にてお披露目。「美味しい!」とお声をいただき、開発した学生たちは手応えを感じていました。

昨年開発した「あおサブレ」は2024年3月15日(金)から販売され、卒業式や入学式でも多くの方が購入されました。その他の取扱店舗など、詳細は本学webサイトでご確認ください。本学発の「健康志向なサステナブルスイーツ」への応援をお待ちしています!

## 学生プロデュース「シカ肉ソーセージ」初の商品化！ジビエドッグでTFTランチデビュー

生活科学科食物専攻では、エシカル消費としてシカ肉料理のレシピ考案・普及活動を2016年から継続しています。2023年はもっと身近な食材になればと、シカ肉の加工品開発に取り組み、無添加にこだわったスパイシーな「シカ肉ソーセージ」が完成しました。10月21日(土)開催の短大フェスタでは商品試食会を行い、10月31日(火)には学食TFTランチの1皿としてシカ肉ソーセージを使ったジビエドッグを提供しました。

シカ肉の美味しさを、栄養士をめざす食物専攻の学生ならではの活動で発信しています。



短大フェスタ	TFTランチ×ジビエドッグ
「シカ肉ソーセージ」試食提供	「シカ肉ソーセージ」がデビュー



※TFT (TABLE FOR TWO) とは  
社会貢献活動で、学生食堂のランチ1食に支払った金額から20円が、アフリカの子どもたちへの給食支援として寄付されます。

## 令和5年度 文学部比較文化研究所 主催行事報告 ー現地と史料で学ぶ防災ー



10月21日(土)、文学部比較文化研究所は、所員がガイドを務めるバスツアーを行いました。岡山市北区の備中高松城水攻めの地形環境をたくみに利用した築堤、倉敷市真備町の西日本水害の地形環境と復興地を訪問しました。教員と学生、さらに一般からも10名参加いただき、新旧の地図や絵図、地形分類図をもとに、歴史地理学的視点からご説明しました。

これからも地域貢献に尽力していきたいと考えています。



## 盛り上がった大学祭 2023 (山城祭・杏樹祭)

第59回山城祭を10月20日(金)～22日(日)の3日間、徳島キャンパスにて開催しました。2022年から一般公開も再開し、今回は声優の杉山紀彰さんをお招きして多くの方に集まっていただくことができました。

香川キャンパスでは第38回杏樹祭が10月14日(土)・15日(日)の両日で開催されました。色とりどりのテントが張られたキャンパス内では学生・地域の方による模擬店や展示が行われました。また、ステージでは演奏やダンスなどのパフォーマンスが繰り広げられました。なかでも徳島キャンパスの学生による阿波おどりとエイサーは圧巻で、多くの人を魅了しました。



山城祭 杏樹祭



山城祭 初日の様子はコチラ



## ロボットを活用した最新の薬局調剤業務を「VR体験学習」ーVRとOnlineで先進の実践教育DXー

香川薬学部では、臨場感あふれる360°視聴が可能なVRゴーグルと一斉視聴システムを使った双方向型の「VR体験学習」を、全国に先駆けて1年生の必修科目「早期体験学習」で本格的に導入しています。

10月27日(金)の早期体験学習では、愛媛県の調剤併設型ドラッグストアとのライブ中継による「Online体験学習」に加え、香川県初の「医薬品自動入庫出口ロボット (BD Rowa™ Vmax)」を用いた最新の薬局調剤業務をVRで見学しました。普段は入ることのできない医薬品自動入庫出口ロボットの内部も臨床現場の薬剤師の案内で見学できて、学生たちは興味津々でした。



こんな風に見えるんだ!

## MONTHLY NEWS 11月

### 第15回 徳島音楽コンクール・徳島音楽フェスティバルを開催

10月7日(土)、徳島キャンパスにおいて第15回徳島音楽コンクールを開催しました。

全国から197人(組)の参加があり、審査の結果、金賞を受賞した36人(組)が11月4日(土)にむらさきホールで開催した徳島音楽フェスティバルに出演しました。本学関係では、音楽専攻科の二宮あゆみさん(ソプラノ)が審査員特別賞を受賞しました。二宮さんは昨年、ウィーンで開催されている「インターナショナル夏期講習会」に参加した経験もあり、そうした成果を十分に発揮することができました。

また同音楽フェスティバルでは、将来性が期待される方に贈られる「未来賞」を今回より新設。小学3年生の齋藤伎一さん(電子オルガン)が受賞されました。



※別日の写真となります  
審査員特別賞を受賞した二宮さん

### 中高生のための薬剤師セミナー 2023 「暮らしの中にある薬学」

11月12日(日)、高松シンボルタワー1階展示場にて、中高生のための薬剤師セミナー2023「暮らしの中にある薬学」を開催しました。

日常と薬学をテーマに、花王株式会社生物科学研究所の池内正剛先生、学校薬剤師として、たきのみや三好薬局の平松良基先生にご講演いただきました。体験コーナーでは香川県薬剤師会、未来のSO-YAKUプロジェクト(株式会社レディ薬局)にご協力いただきました。充実したセミナー内容に、参加した中高生も非常に満足していました。

薬剤師・薬学部への興味喚起に向けて、今後も薬学に関するさまざまなテーマで開催したいと考えています。



## 女子サッカー部 四国エリア代表として全日本大学女子サッカー選手権大会に出場決定!



11月5日(日)に開催された「第32回全日本大学女子サッカー選手権大会」の四国予選にて、本学女子サッカー部が勝利し、本戦に出場することが決定しました。

女子サッカー部の皆さんからは「立ち上がりから良い雰囲気が入ることができ、先制点を取ることができました。良い形で点を取れそうな場面も多く作ることができましたが、決めきれず苦しい時間帯が多かったです。最後まで諦めない気持ちと全員の集中力の良さで粘り強く守備ができた結果、無失点で抑えることができました。運営・サポートをしてくださった皆さま、ありがとうございました」と、コメントをいただきました。

第32回全日本大学女子サッカー選手権大会四国予選 結果

○ 徳島文理大学 1-0 四国大学 ●

## 薬剤師とのオンラインミーティング 薬剤師とDXでつながろう



11月20日(月)、香川薬学部は香川県立中央病院薬剤部と高松第一高等学校・大手前高松高等学校をオンラインで接続し、「薬剤師とのオンラインミーティング 薬剤師とDXでつながろう」を開催しました。スマートグラスによる薬剤師目線での業務紹介やSPLYZA Teamsを用いた双方向コミュニケーションによる薬剤師業務のグループワークを行いました。

参加した高校生は非常に積極的であり、満足度の高いイベントを開催できました。香川薬学部では今後も先進のICTを活用して、高校生や高校教員に薬剤師の魅力を発信していきたいと考えています。



## 4年ぶりの遍路ウォーク開催!

コロナ禍にあって3年続けて中止となっていた香川キャンパスの新入生恒例行事「遍路ウォーク」が2023年11月10日(金)に4年ぶりに開催できました。当日の天候は残念ながら快晴とはいかず、前夜からの雨がまだ残る中で急遽予定コースを若干変更しましたが、学生たちがへんろ道を歩く時だけは雨がやんでいるという奇跡的な状況で実施できました。

ウォーキング体験自体は限られた時間ではありましたが、八十八番札所「大窪寺」をめざす道中、そして、到着後の大窪寺で過ごす学生の表情を見ていると「開催できて良かった!」と、心から感じました。

今年はいよいよ香川キャンパスでの最後の遍路ウォークとなります。思い残すことなく、思い出深い遍路ウォークが開催できることを今から願っています。



## MONTHLY NEWS 12月

### 香川キャンパス学生部 クリスマスイベント



2021年から毎年、香川キャンパス学生部主催でクリスマスイベントを開催しています。プログラムは、軽音フリーミュージック部による演奏とダンス部のパフォーマンスです。軽音フリーミュージック部顧問の森本滋郎先生による特別出演もあり大変盛り上がりしました。ダンスは軽快なステップで部員の呼吸もぴったり合い、洗練されたパフォーマンスでした。

2024年度で、香川キャンパスでのイベントは最後になります。大学祭、イルミネーション点灯式、七夕・クリスマスイベント、さぬき市民文化祭志度祭などで、日ごろの成果を十分に発揮してもらいたいと思います。



メリークリスマス!

動画でご覧いただけます



## 「第40回 おとぎのくに」



保育科の「おとぎのくに」は、学生が実習でお世話になった本学附属幼稚園や保育所の子どもたちを招待して創作ミュージカルやハンドベル・ブラックシアター・ダンスなどを披露するイベントです。2023年度は11月29日(水)・30日(木)の2日間、むらさきホールで約1,000人のお客さまをお招きして開催しました。

開催にあたっては、衣装制作や当日の誘導、動画制作など他学科にもご協力いただきました。学内外の多くの皆さまのご支援で第40回という節目の回を迎えられたことに感謝し、より充実したイベントになるよう励んでいきたいと思ひます。

あいみよんの「愛の花」をおどりました



## 心あたたまるイルミネーション

本学の冬の風物詩、イルミネーション。香川キャンパスでは12月1日(金)、徳島キャンパスでは12月8日(金)にイルミネーション点灯式を開催しました。

点灯式には音楽学部学生によるコンサートや軽音フリーミュージック部による演奏、ダンス部によるダンスパフォーマンス、徳島文理大学連による阿波おどり披露、志度中学校吹奏楽部による演奏が行われました。両キャンパスとも色鮮やかなLEDライトがキャンパス内を美しく彩り、まさに幻想的な風景となりました。地域の方にもお越しいただき、楽しい時間を多くの方たちと過ごすことができました。



## 「第11回 NR・サプリメントアドバイザー認定試験」の結果

12月3日(日)に行われた「第11回 NR・サプリメントアドバイザー認定試験」は全国の合格率が62%でしたが、本学薬学部の合格率はこれを上回る87%でした。さらに成績優秀者として、6名が表彰されました。

NR・サプリメントアドバイザーとは、保健機能食品やサプリメントについて、専門的観点から各個人の栄養状態を評価し、適切にアドバイスすることを目的とした資格です。

毎年主に薬学部5年生の希望者がチャレンジし、高い合格率で資格を獲得しています。サプリメントの需要は高まっているため、サプリメントに関する正しい知識と情報を持ち、適切にアドバイスができる専門家として活躍することが期待されています。

現3年生から開始した教育プログラムとして、3コース制の1つである「漢方・セルフケアコース」では、NR・サプリメントアドバイザー認定試験に必要な知識についても学べる講義が設定されています。



左から、堀江春香さん・谷 優風さん・七條竜太郎さん・岩崎七緒さん・上村 歩さん(薬学部5年生)



長山さんの賞状

### 成績優秀者

- 堀江 春香 さん・谷 優風 さん
- 七條竜太郎 さん・岩崎 七緒 さん
- 上村 歩 さん・長山 拓生 さん



## 機械創造工学科1年生2名が「全日本ロボット相撲大会2023」に出場

12月9日(土)・10日(日)に「全日本ロボット相撲大会2023」が両国国技館で行われ、ラジコンの部に機械創造工学科1年の越智仁也さんと加藤彰希さんが参加しました。加藤さんは残念ながら1回戦で惜敗しましたが、越智さんはベスト16の成績を残すことができました。

ロボット相撲は丸い土俵の上で2台の相撲ロボットが戦い、相手のロボットを土俵外に押し出して勝敗を競う競技です。両名とも日ごろの練習の成果を十分に発揮することができ、大会を通じて強豪チームと情報交換をするなど、次年度に向けてアイデアの発想や意欲を高める機会にもなりました。



越智さんと加藤さん

## 「上勝阿波晩茶祭り2023」で人間生活学科の学生が発表!



12月10日(日)に上勝町ゼロ・ウェストセンターで開催された「上勝阿波晩茶祭り2023」に、人間生活学科の学生5名が参加しました。晩茶祭りでは、上勝で生産された阿波晩茶の試飲や販売がされており、学生はボランティアとして晩茶農家さんのお手伝いをしながら交流を深めました。また学生発表では、人間生活学科で取り組んでいる阿波晩茶づくりで得られた学びの成果や、晩茶の認知度調査を実施した結果を報告し、調査で得られた知見をもとに、阿波晩茶の文化継承のために今後していくべきことを学生目線で提案しました。

今年度は、今回提案したことを実現できるように活動を続けていきます。

## 音楽療法コースが「音楽を活用したフレイル・介護予防」研修会を実施

12月17日(日)、音楽療法コースが阿波市社会福祉協議会の依頼を受け、土成保健センターで阿波市老人クラブ役員40名を対象に「音楽を活用したフレイル・介護予防」の研修会を行いました。

教員と学生5名が講師を務め、講義では音楽が脳全体に広がる様子を画像で見たあと、音楽療法が認知機能低下の予防や運動機能、呼吸機能の向上などにも役立つことを説明。途中で、歌ったり動いたり演奏したりと音楽活動も織り交ぜながら、自分自身の心と体で音楽の効果を感じてもらった研修会となりました。帰り際には「また来てほしい」と声をかけていただき嬉しくなりました。



また来ます!

学生考案！  
「芋ビール&おつまみチュロス」販売！

1月13日(土)、徳島市の阿波おどり会館内の物産観光交流プラザ「あるでよ徳島」において、学生たちが考案した「芋ビール」と「おつまみチュロス」のお披露目会を行いました。このお披露目会には徳島文理大学連や人形浄瑠璃部が応援に駆け付け、多くのギャラリーとマスコミが注目するイベントとなりました。

この芋ビールとおつまみチュロスは、総合政策学部の床桜ゼミの学生が阿南市那賀川町の活性化に貢献するため、那賀川町の地域食材を活用して取り組んできたものです。具体的には、若者目線からサステナブルな地域づくりに貢献するため、地元の金時芋農家とクラフトビール醸造所とコラボした全国的にも数少ない芋ビールに加え、クラフトビール製造過程で生じる麦芽の搾りかすや阿波牛、米粉を活用したおつまみチュロスの考案です。

また、1月17日(水)、アカンサスホールで開催した公開授業「集客交流産業論」において、多くの聴講生を前に、学生たちが講師となって「自分たちの取り組みを繋いでほしい」との思いを込めてこれまでの取り組みの活動報告を行いました。



短期大学部「学生考案シカ肉料理」×  
TFTランチ×薬学部のコラボでSDGs！



生活科学科食物専攻によるシカ肉料理の提供は、毎週火曜日に食堂パウゼにて行っているTFTランチに合わせて計6回実施し、料理には毎回「あおさシャンテリヌソース」(薬学部の山本博文教授が開発：世界初の陸上養殖によるあおさ)を使用しました。新聞・テレビで取り上げていただき、11月23日(木・祝)に徳島新聞に記事が掲載されると問い合わせがあり、12月の提供日に複数人のお客さまが食べにいらっしゃいました。

1月16日(火)には四国放送の夕方のニュースで、害獣被害の問題で捕獲されたシカの有効活用話題として、本学の取り組みを紹介していただきました。1月23日(火)は沖縄出身の学生が郷土料理のタコライスにシカ肉でアレンジして好評を博しました。

今後も「エシカル消費～シカをこそそうに～」をコンセプトに活動を継続してまいります。



ぜひご覧ください

学生が考案したシカ肉料理

- 10月31日🍷 シカ肉ソーセージのジビエドッグ
- 11月21日🍷 スパイス香る！ 鉄分たっぷりドライカレー
- 12月12日🍷 サクッと、やみつきシカ肉カツ
- 12月19日🍷 スパイス香る！ 鉄分たっぷりドライカレー
- 1月16日🍷 濃厚クリーミーなシカ肉シチュー・シカ肉ミートボール
- 1月23日🍷 シカ肉タコライス・シカニラもやし炒め



地域学アドバンストコース  
「美馬市脇町を知る旅」を実施

徳島キャンパス地域連携センター主催の地域学アドバンストコース「美馬市脇町を知る旅」を2月7日(水)・8日(木)の2日間にわたり実施し、学生4名が参加しました。

1日目は、うだつの町並み・吉野川などを巡るボタリングツアーや、藍染め体験・和傘制作見学・地域の方々との交流を行いました。2日目は「自家製小麦のお店 mimori」と「泊まれる本屋まとしかく」に分かれて、それぞれに見学・体験をしました。その後、印刷工場をリノベーションしたADLIVを見学し、そこでお互いの見学・体験を報告しました。

まちづくりを牽引する方々との交流や体験をとおして、地域の魅力や課題に目を向けるきっかけとなり、学生の今後の学びや研究・活動の糧となりました。



リスタートフォーラムで  
フィールドワーク活動発表



とくしま産学官連携プラットフォームと徳島県による「令和5年度地域貢献活動リスタートフォーラム」を2月15日(木)にアカンサスホールで開催しました。

小林 浩氏(リクルート進学総研所長)の基調講演、学生によるフィールドワーク活動発表がありました。本学からは、人間生活学科4年の竹林果純さん・猪岡里菜さんによる「農山村の暮らし体験と地域文化の継承―上勝町におけるローカルSDGsの実践―」と食物栄養学科3年の大森真悠さん・藤原美沙さんによる「牟岐町の特産品を活かした地域活性化事業―産学官の取り組み―」を発表しました。本学での学びをいかして地域との関係性を深め、地域貢献の大切さを改めて学ぶ機会となりました。

ウインドオーケストラ  
—文理幼・小のためのむらさきホールコンサート—

2月22日(水)、音楽学部ウインドオーケストラによるむらさきホールコンサートが、本学附属幼稚園の園児と徳島文理小学校の児童のために開催されました(幼小保護者会主催)。学生がキャラクターに扮装し、フルートやオーボエなどの楽器紹介を行ったり、「新時代(ウタ from ONE PIECE FILM RED)」や「ジャンボリミッキー！」など、なじみのある曲を演奏するとホール内は子どもたちの歓喜の手拍子に包まれました。また、当日は山下靖喬さんによる津軽三味線特別演奏会もあり、子どもたちは生の演奏に聴き入っていました。

子どもたちは幼少期からむらさきホールで音楽を聴くという本物に触れられる体験ができ、学生は演奏や楽器紹介をいかに子どもたちに楽しんでもらえるか工夫するなど、双方が楽しめる総合学園ならではの素晴らしい企画となりました。



「英語集中セミナー」～小豆島研修～

2月2日(金)～9日(金)の平日6日間「英語集中セミナー」が行われました。これは主に英語ネイティブ教員による集中講義で、2023年度は来日外国人に対する対応や日本文化の紹介がテーマでした。計画・実行は英語英米文化学科ですが、参加は香川キャンパス全学生が対象で、英語英米文化学科を中心に3学部5学科から計21名の参加がありました。

2月7日(水)には小豆島へ学外実習に行き、オリーブ公園・ひしおの郷・富丘八幡神社・エンジェルロード等を巡って、各所で英語によるガイド演習を行いました。醤油工場見学など貴重な体験もでき、学生たちは楽しく有意義な一日を過ごしました。



空を飛んでみたい

2023年度 卒業式を挙行

2023年度 卒業式は、徳島キャンパスでは3月15日(金)、香川キャンパスでは3月17日(日)に挙行されました。

式典では、田村学長が大学院生に学位記、専攻科生に修了証書、各学部の総代には卒業証書および学位記をそれぞれ授与しました。その後、各キャンパスの総代は、これまでの学生生活を振り返りつつ、これからの未来に向かって思いを巡らせながら答辞を述べ、会場は厳かな雰囲気になりました。2020年度の卒業式以来、3年ぶりに保護者の方も式典会場にてご参加いただき、執り行うことができました。卒業生の皆さんの門出を祝うことができたことを教職員一同、大変嬉しく思っております。



徳島キャンパス

香川キャンパス

## HITOMI FUJISHIRO

藤代 瞳 准教授

## 薬学部薬学科

担当授業：栄養生理学・食品衛生学・実践栄養学 など  
 学歴：徳島大学大学院薬学研究科博士後期課程修了  
 趣味：スキー・スノーボード・観劇

## 今の道をめざそうと思った理由、きっかけを教えてください。

父が歯科医師なので、医療に関わる仕事に興味をもち、病院薬剤師をめざして薬学部に進学しました。卒業研究がとても楽しく、もっと色々な実験をしてみたいと思うようになり大学院に進学しました。大学院時代は「記憶・学習のメカニズム」について研究し、一度製薬企業に就職したのですが、基礎研究の楽しさに気づいたため博士課程に戻り、大学教員をめざしました。大学や大学院で出会った先輩や先生方が、さまざまな体験や実験をとおして研究の面白さを教えてくださったのがきっかけだと思っています。

## 現在どのような研究を行っていますか。

カドミウムなどの有害金属がどのようにして腎障害を引き起こすのかを研究しています。また有害金属が、どのようにして生体内の必須金属（生命金属）の調節を攪乱するのかについても解析し、生命金属が体の中でどのように調節されているのか研究しています。医薬品の中には金属を含有する薬物があるのですが、その腎臓障害機構も研究しています。

## 先生はどのような学生生活を過ごしていましたか。

研究室でとても長い時間を過ごしていました。大学院生や先生と実験をしたり、同級生と研究発表の準備をしたり、講義後は夜遅くまで研究室にいたことが多かったです。大学院生になってからも薬



剤師のアルバイトをしていましたが、ほとんどの時間は研究室で実験していました。よくそんな体力があったなあとは思いますが、実験量の多さが私の強みだったと思います。

## 研究室の学生たちはどのような雰囲気ですか。

1年生から実験してみたい学生は研究室に来て実験できる制度（インターン）があるので、1年から5年生の学生が入り込んで賑やかです。講義が終わってから毎日研究室に来て実験をがんばっています。学会で受賞した時や誕生日にはお祝いをしたり、新しいメンバーの歓迎会をしたり、先輩後輩関係なく仲が良いです。薬学部の特徴として、先輩が先輩の面倒をみる体制になっていて、研究や研究室運営がとても上手くいっていると思います。

たくさん実験し、上手くいかない時は悩んだりもしていますが、一緒に解決策を考え、粘り強く実験を繰り返し、研究も遊びも全力でやるというのがモットーです。学会発表をめざしてがんばっています。

## 将来の夢を教えてください。

## ●教師、研究者としての夢

私は2019年から5年間、科研費（新学術領域）が採択され、計画研究の研究代表者として生命金属科学の研究を金属の輸送機構を中心に行ってきました。多くの先生との出会いがあり、共同研究もたくさん実現し、研究で賞をいただくこともできました。しかし、体の中にはたくさんの金属があり、生命活動に必要なものが多くありますが、その調節機構はまだまだ分かっていないことが多いです。今後の夢としては、自分の研究をさらに発展させ、有害金属だけではなく、

生命に必要な金属の生体内での調節機構を明らかにすることです。

## ●プライベート面の夢

趣味でコーラスやお芝居をやっています。大きな声を出すとスッキリしますし、気持ちがいいです。コンクールで全国大会に出場するのが夢で、歌って踊れる研究者をめざしています（笑）。カナダに留学していた時に、仕事も大切ですが人生を楽しむって大切だなということを知りました。恥ずかしながらいるんなことにチャレンジしたいと思っています。



右から3番目が藤代先生

## 趣味や休日にされていることを教えてください。

スキーやスノーボードが好きです。観劇も好きで、娘とよくミュージカルを観に行きます。

## 地域の皆さんとの交流はいかがですか。

出張講義や職場体験、リケジョ養成講座といったイベントにたくさん参加し、講師を務めさせていただきました。小学生～高校生の皆さんと実験や、将来の進路選択の参考に薬学部の特徴をお話しさせていただいたりする機会が多い年でした。薬剤師体験や研究体験などをおして、皆さんといろいろなお話しができてとても楽しかったですし、私の経験をお話しすることで薬学部に進学してみたいというきっかけになれば嬉しいです。

## 薬学部をめざそうとしている学生さんへメッセージをお願いします。

病院薬剤師や薬局薬剤師だけでなく、実は薬学部は就職先がとても幅広い学部だということを知っていただきたいです。公務員や研究者、製薬企業など多くの活躍の場があります。

高校生の皆さんから「勉強についていけるか心配」とよく相談されるのですが、化学や生物が好きであれば、大学に入って基礎から勉強するので大丈夫です。私自身が恩師に言われた言葉なのですが、「面白いなと思えることが大切」だと思います。薬や生物、化学に興味がある方は、面白そうと思う力がやる力に繋がるとも思いますので、ぜひ一緒に薬学部で研究しませんか？

## ◆近年の受賞

- ①ファイザー賞、2022年7月1日、第49回日本毒性学会学術年会
- ②浜理薬品賞（研究学術賞）、受賞テーマ：「腎臓の部位特異的な微量元素輸送機構の解明」2022年9月10日、第33回日本微量元素学会学術集会

## ◆現在獲得している研究費

- ① 2019-2023年度 科研費：新学術領域研究（研究領域提案型）、計画研究代表、細胞内生命金属動態で理解する腎臓の生理機能制御、5年間
- ② 2022-2024年度 科研費：基盤研究C、代表、ミトコンドリアダイナミクスに注目した腎障害誘発機構の解析、3年間
- ③ 2022-2024年度 環境省：重金属等による健康影響に関する総合的研究（イタイイタイ病及び慢性カドミウム中毒に関する総合的研究）、代表、カドミウムによる近位尿管再吸収障害機構の解明、3年間
- ④ 2023-2025年度 科研費：挑戦的萌芽、分担、量子ビームで解き明かす尿管管要素輸送動態、3年間



「面白いと思えることが大切」

面白そうと思う力が

やる力に繋がると思います



# HISANORI AMANO

天野 久徳 教授

理工学部機械創造工学科

担当授業：機械力学Ⅰ・Ⅱ、ロボット工学基礎・応用、制御工学特論Ⅱ など

学歴：大阪府立大学工学部機械工学科卒

京都大学大学院情報学研究科論文博士

趣味：読書・音楽鑑賞・落語・乗馬

## 先生の専門分野について教えてください。

災害に対応するためのロボットの研究開発をしています。災害時に消防隊員が入れない危険な領域、狭小な領域に入っていく、危険なものがないか、負傷している人が取り残されていないかと偵察したり、災害の拡大を抑制したりするロボットの研究開発をしています。

学術的には非線形制御理論ですが、これを応用してロボットの研究を行ってきました。また、分散協調ロボットシステムという、小さなロボットが協力して1つの作業を行うロボットの研究も行っています。さらに、自分で考え自分で判断して活動する自律ロボットの研究も手がけています。

## 今の分野をめざそうと思った理由、きっかけを教えてください。

影響を受けたのは、子どものころに放送されていたSF人形劇「サンダーバード」かもしれません。また、アポロ計画にかなり熱中した記憶があります。そんなことが影響したのか、先端技術というと軍事技術として活用されがちですが、そうではなく、命を守る、助けることにかす科学技術に携わりたいと考えたことが大きな理由でした。

## 現在、どのような研究を行い、何に取り組んでいますか。

高松市消防局や香川県消防学校との連携を模索しています。水中ドローンと呼



ばれている遠隔操縦の小型の潜水艦のようなロボットです。水難事故に遭ってしまった人を探索し、水中の状況を偵察するために使用されます。消防で活用するために不足している能力を調査し、研究開発を進めていきます。消防用偵察ロボットは、コンピュータ内に再現した災害現場に電子モデル化したロボットを走らせ、その性能の確認、向上の研究、また、ロボットの耐熱性の向上や自律走行、複数ロボットの連携などの研究も行っています。

## 研究室の学生たちはどのような雰囲気ですか。

とても優秀で積極的に活動してくれています。コンピュータがあまり得意でない学生もいますが、ロボットを動かすためにはコンピュータの知識も必要であり少し指導すると直ぐに使えるようになるため、頼りになります。オープンキャンパスでは、小さなロボットカーを動かす講義をしています。丁寧にサポート指導をし、私の目の届かないところをよく補ってくれます。何より皆さん元気で明るく、よく研究室に来てくれます。



## 学生の時に「やっておけば良かった!」ということはありませんか。

国際的に活躍するのであれば、日本固有の文化を身につけておくとも良いかもしれません。お茶やお花、なにか一つ身につけておけば良かったなと思っています。

研究職という職に就いたということもありますが、よく勉強しておけば良かったと思います。大学院に進まれることもお勧めします。仕事をしつつ勉強することはとても大変です。あるいは、大学ではこれをやった、と誇れるようなものがあると良いですね。

## 趣味や休日にされていることを教えてください。

動物とふれあいたいと思い、乗馬をはじめました。それほど通えませぬ一向に上達しませんが、なんとかしがみついで続いています。



## 先生が紹介したいロボットを教えてください。

私がリーダーとなって研究開発したスクラムフォースです。東日本大震災の際に、千葉県市原市の石油化学コンビナートで大爆発が発生しました。このような危険な現場に消防隊員に替って消防活動を行えるロボットシステムです。空からの状況を監視、地上からの偵察、放水指令システム、これらを搬送する搬送車輦で構成されています。全てのロボットは自動で飛行・走行するため、消防隊員はより速く安全な場所で活動できます。

## 機械創造工学科をめざしている皆さんへメッセージをお願いします。

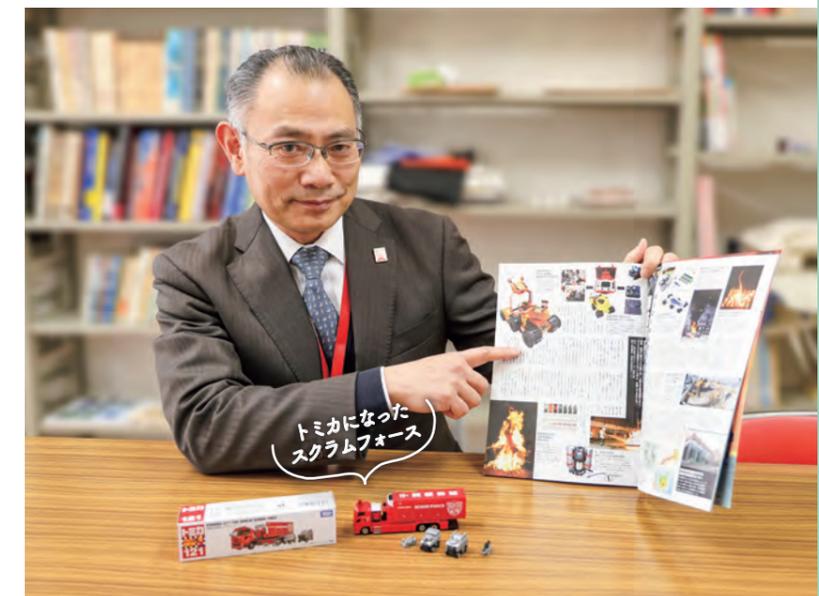
やはり、モノを動かすとすると機械の知識が必要になります。そういった意味では、今注目されているAIや自動運転などをモノにつなげ社会で活用するために、機械創造工学科も1つの役割を果たしていけるのです。ぜひ、興味をもってほしいです。そして、何よりも専門にこだわらず、広い分野の知識を身につけて多くの人と語り合うことが重要です。専門の研究をしても、全く他分野の知識がヒントになったりすることもあります。広い交友関係があれば、いろいろな人から刺激を受け、自分自身の成長やチャンスを掴むことにもつながります。

私の性格を一言でいうと「熱しやすく冷めやすい」



広い交友関係は

自分自身の成長にもつながります



トミカになったスクラムフォース

## 研究紹介

### 第16回「特色ある教育・研究」全学発表会

「特色ある教育・研究」事業は、若手教職員の育成、外部資金の獲得支援ならびに業務基盤の強化を目的に、学内教職員から広く募集を行い、本学における教育・研究の質向上ならびに、地方大学として地域活性化、地域貢献に資する事業を支援するものです。採択された前年度終了研究者は研究成果を口頭発表し、その内容を本学研究紀要にも掲載しています。



● 第16回全学発表会で口頭発表をした2022年度終了研究者の研究テーマは以下の通りです。

2022年度 終了研究者の研究テーマ	研究者
大学生のスポーツ選手に対する栄養教育マネジメント効果の検討	小川 直子 (人間生活学部)
大学生の精神的健康度とレジリエンスとの関連 —新カリキュラムで入学する看護学生の休学・退学予防へのプログラム開発をめざして—	田村 幸子 (保健福祉学部)
ICTを活用したグループワーク講義方法の構築	近藤 慶承 (保健福祉学部)
充実したキャンパスライフをすごそう	福田 トモコ (香川C学生支援課)
新型コロナウイルスのタンパク質に対するアセチル化修飾の役割解明 —新規抗ウイルス薬開発の基盤構築を目指して—	畠山 大 (薬学部)
脊椎手掌異形成型エーラス・ダンロス症候群患者 iPS 細胞を用いた骨格筋疾患の創薬および再生医療研究	庄司 正樹 (薬学部)
ツタンカーメンエンドウの莢由来アントシアニンの生体抗酸化性の解明	前川 優樹 (人間生活学部)
ウェアラブルデバイスによる視覚化情報がチーム戦術理解能力に与える影響	金子 憲一 (総合政策学部)
徳島県特産品「藤野菜」のブランド化に向けた研究 —色素成分およびその生理機能の解析—	近藤 美樹 (人間生活学部)
パーソナルモビリティ (PM) の普及に向けた試乗体験会及び路面環境が走行感に及ぼす影響 ～本学学生と地域高齢者、専門職者による体験走行と測量調査からの検討～	平島 賢一 (保健福祉学部)
ナノバブルによる革新的殺菌水の開発と危機的自然災害時の感染症対策	大島 隆幸 (理工学部)
苔を用いた二酸化炭素吸収剤の開発およびバイオマス燃料としての利用の試み	江角 朋之 (薬学部)
BUNRI 脱炭素アンバサダーによる脱炭素社会実現に向けた実践と情報発信	藤巻 晃 (徳島C地域連携センター)

● 発表会参加者による投票で、2022年度終了研究者より下記の研究が選ばれ、発表会当日および合同教授会で表彰されました。

優秀研究賞の研究テーマ	研究者
大学生の精神的健康度とレジリエンスとの関連 —新カリキュラムで入学する看護学生の休学・退学予防へのプログラム開発をめざして—	田村 幸子 (保健福祉学部)
新型コロナウイルスのタンパク質に対するアセチル化修飾の役割解明 —新規抗ウイルス薬開発の基盤構築を目指して—	畠山 大 (薬学部)



卒業生と大学をつなぐ  
徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部同窓会

# アカンサス会だより

## 同窓会考

アカンサス会会長 田村 祥祐



2024年は思いがけず波乱の幕開けになり、南海トラフや社会情勢への不安を抱えながら、今年一年社会の平穏を祈るばかりです。

さて、当会にふさわしい同窓会的话题を少しばかり。社会定義で高齢者域に入った私の年齢になりますと、思い出と旧交を追い求める友が多いせいか、昨年から今年にかけて、大学同期と小学校の学年同窓会に誘われ参加いたしました。40数年ぶりに再会した友も多く感慨深いものが当然あったのですが、大学は同じ資格を求めて各地から集まったこともあり、またある程度大人の風貌と人格に達してからの出会い交友であり、卒後の情報もある程度保ち、意外な人生や変化に触れる予想外が少なかったかもわかりません。懐かしさだけで埋め尽くされ、ひたすら旧交を温め楽しい時を過ごしました。一方同じ地域に居住し後に散らばった小学校の旧友たちは、半世紀を超えた再会も多く、幼馴染とも呼べるスタートですから、姿形は無論変貌を遂げ、名札無くして特定は難しい状況で、歩んだ意外な人生に驚く機会が盛りだくさんでした。「遠きにありて思ふもの」とあるように、故郷を遠く離れた人ほど、母校旧友への思いは強いようでした。

大学に属する期間はそれぞれですが、長い人生の中ではほんの一部。でも同窓という意識は生涯継続していきます。この数年の絆が大切な思い出に繋がる道標がアカンサスなら若い会員の皆様にとっても、母校が時に思い出に浸りたいと思える存在であり続けるなら、重責の役職かなと感じる今日この頃です。

## ご案内 「ホームカミング」開催のご案内 (参加無料)

学園創立130周年を記念して「ホームカミング」を開催いたします。「ホームカミング」とは、同窓会活動の一環として10年ごとに実施しており、卒業生が一堂に会し、恩師や友人と語らいを楽しんでいただくイベントです。

徳島 キャンパス	2025年10月13日(月)	JR ホテルクレメント徳島 徳島県徳島市寺島本町西1-61
香川 キャンパス	2025年10月18日(土)	JR ホテルクレメント高松 香川県高松市浜ノ町1-1

※130周年は大学キャンパスではなく、各ホテルでの開催となっております。

## 役員会 2023年アカンサス会本部役員会において、下記のとおり承認されました。役員は次のとおりです (敬称略)。

- 【会長】 田村 祥祐
- 【副会長】 石川 慎也・堤 美代子・平 哲也・藤井 直樹・榎内 光子・松下 純子・犬伏 知子
- 【理事】 大久保 純子・平野 享子・清久 加代子・石川 弥加・河野 美代・遠藤 真由美・福田 恵・松浦 紀子・野田 由美子・小川 嘉弘・長江 優太・大城 泰博
- 【幹事】 市原 暁子・宗野 真和・岡山 千賀子・上岡 愛・川田 真理・河野 真由美・三宅 幸・森本 滋郎・安藝 誠二・元木 努・廣瀬 勝盛・藤巻 晃・板東 博士・福原 泰子
- 【顧問】 田村 禎通・村崎 正人・藤田 義彦・高橋 倫子
- 【参 与】 後藤 立夫・佐々木 和昭
- 【監 事】 早雲 洋一・長尾 久美子
- 【徳島県支部長】 河野 司 (同副支部長・幹事) 井村 幸子
- 【香川県支部長】 今村 幸太郎 (同事務担当) 三好 真千
- 【沖縄県支部長】 小池 伸彦 (同事務担当・幹事) 小川 直子
- 【高知県支部長】 中村 達彦 (同事務担当) 長濱 太造
- 【愛媛県支部長】 宇田 雅実 (同事務担当) 板東 秀子
- 【アカンサス会事務局・理事】 入野 恵子

1967年に設立されたアカンサス会は、徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部卒業の同窓生で構成され、会員相互の親睦をはかるとともに卒業生と母校との連絡を密にし、母校の発展を期することを目的とした同窓会の名称です。本会ではこの目的を達成するために、親睦会・講演会・講習会の開催などの事業を行っています。また、2009年に徳島県支部・香川県支部、2011年に沖縄県支部、2017年に高知県支部、2018年には愛媛県支部が発足しました。各支部とも各県出身者を中心にそれぞれ活動を行っています。

さらに、毎年アカンサス会会員の皆さまに「徳島文理大学通信アカンサス」をお送りし、現在の大学の状況をお知らせしています。また、今後のアカンサス会活動につきまして、皆さまのご意見をお待ち申し上げております。

アカンサス会事務局	
〒770-8514	徳島市山城町西浜傍180 徳島キャンパス アカンサス会事務局
TEL・FAX	: 088-602-8726 (直) 平日【月～木】10:00～14:30【金】10:00～14:00
E-mail	: acanthus@tks.bunri-u.ac.jp
※氏名・住所など変更の場合は必ずご連絡ください。	



# アカンサス会支部からのお知らせ

## 徳島県支部

徳島県支部長：河野 司

平素は徳島県支部の活動にご支援・ご理解をいただき、ありがとうございます。2023年度総会および交流イベントでは延べ102名の参加があり、新たな試みとしてZoomでのライブ配信も行いました。初めて参加された方は23名、海外（台湾1名、アメリカ2名）からのweb参加もあり、「良かった」というお声をたくさんいただきました。2024年度の行事としては、支部総会および研修会は、6月1日(土)「マリオッティ先生と読み解く、有名なピアノ曲に隠された秘密の物語」、また支部イベントとして、8月2日(金)小中学生対象の「夏休みの宿題（絵画）を楽しみながら描こう」と、10月19日(土)「大学のトレーニングセンターで身体を動かしてみよう！」を企画しています。多くの皆さまの参加をお待ちしております。



## 香川県支部

香川県支部長：今村 幸太郎

平素はアカンサス会香川県支部の活動にご理解・ご支援を賜り、ありがとうございます。2023年度は、コロナ禍からようやく解放され、久しぶりに活動することができました。10月「杏樹祭」では、卒業生による模擬店を出店。また、日帰り親睦会旅行として、朝ドラで話題となった牧野富太郎博士ゆかりの地、高知県を在学生と一緒に巡りました。素晴らしい秋の景観が心に残る一日となりました。今年、志度でアカンサス会行事を行う最後の年となります。新企画【ツールド文理】(香川・徳島両キャンパス間を自転車で行く)を計画中です。卒業生の皆さん、懐かしい学び舎で、楽しい思い出を作りませんか。同窓会行事へのご参加を心よりお待ちしております。



## 沖縄県支部

沖縄県支部長：小池 伸彦

平素はアカンサス会沖縄県支部の活動にご理解・ご支援をいただき、ありがとうございます。2023年度の支部総会は諸般の事情で開催を見送らせていただきました。ここ数年皆さまとお会いできる機会がもてないまま時間が過ぎてしまいましたことをお詫び申し上げます。2024年度の支部総会につきましては今後、日時や会場、対面またはオンラインといった実施方法などを検討することになろうかと思っております。開催が決定いたしましたら、アカンサス会HPのほか、沖縄タイムスや琉球新報など県内紙でご案内させていただく予定です。その際には沖縄県支部の会員の皆さま多くのご参加をよろしくお願い申し上げます。

## 高知県支部

高知県支部長：中村 達彦

平素は高知県支部の活動に多大なるご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。昨年に提案しましたように、本学創立130周年である1年後の2025年に総会等が開催できるように、いよいよ今年は役員体制を再充実化させ、翌年の活動の準備を始めたいと考えています。宜しければ、若手の会員の皆さまの中からも役員を引き受けてくれる方の登場を期待しています。また、皆さまの周囲の本学卒業生で未加入の方がいらっしゃいましたら、お声がけ等をしていただければと思います。同窓生の皆さまには、今後とも本会ならびに母校の発展のために、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。甚だ言葉が足りませんが以上でご挨拶いたします。

## 愛媛県支部

愛媛県支部長：宇田 雅実

平素は愛媛県支部の活動にご支援・ご協力をいただき、ありがとうございます。前年に引き続き2023年度の活動・支部総会も新型コロナウイルス感染症のためすべて中止となりました。2024年度は開催したいと思っております。日時決定次第、愛媛県支部会報にてご案内させていただきます。また、愛媛県支部活動等へのご提案・ご意見や、一緒に活動していただける方を募集しておりますので、ぜひお願いいたします。

## アカンサス会 支援金をいただいた方の氏名一覧

### アカンサス会員(敬称略)

あ 足立 隆弘	か 加計 純子	田村 祥祐	ひ 平尾 真人	藤巻 純子
い 市原 暁子	き 木内 敏郎	つ 辻 厚巳	廣瀬 和美	ま 前田 佳子
犬伏 知子	清岡志津香	堤 美代子	廣瀬 勝盛	正木真希代
井村 幸子	こ 後藤久美子	て 出口 裕子	廣瀬 孝子	松岡 秀己
入野 恵子	さ 佐光 由子	手塚 恭子	廣瀬 芽生	松下 純子
入野沙袖香	里村 幸宏	寺田 市代	ふ 福島 房子	み 溝渕 育子
岩本 泰子	し 七條 ちえ	と 徳永富士夫	福田 一幸	道上 紀子
う 上岡 愛	す 鈴木 和子	な 永井 久江	福原 延隆	や 山中 美尚
上地 貴士	鈴木小百合	長尾久美子	福原 泰子	よ 横山 三千
宇根 実玲	た 平 哲也	中根 徳人	福原 榮子	吉岡 達哉
え 榎内 光子	武市由美子	中野 優	藤巻 晃	わ 渡部 桃子
遠藤真由美	竹崎美由紀	に 新美 智久		
お 大久保純子	竹本 花菜	西 和代		
小笠原 章	多田 一子	の 野尻 幸江		
小川 直子	田中キミ子	は 林 裕子		

アカンサス会員……………69名  
特別会員等……………19名  
合計……………88名

### 特別会員等(敬称略)※

あ 阿部 頼孝	桐野 豊	な 長井 定明
い 犬伏 茂則	く 熊野 直樹	に 新居 弘道
井上 和也	し 白石 勝美	ひ 平賀 幸夫
か 鎌田 真城	せ 妹尾尚一郎	ま 松原 伸夫
河口 雅子	た 田主 澄三	む 村井 光夫
き 木村 昌雄	つ 津田 とみ	や 山田 實

10万～49万……………1名  
5万～9万……………3名  
1万～4万……………84名  
合計……………88名

(2024年2月現在)

※卒業生でない本学の教職員で、同窓会に入会していただいた方や奨学金の趣旨に賛同し、支援金を寄付していただいた方。

2024  
年度

## 各県支部総会・交流イベントのご案内

アカンサス会には、徳島県支部・香川県支部・沖縄県支部・高知県支部・愛媛県支部があります。

2024年度の各県支部の総会および交流イベントの開催については、詳細を大学のHPに掲載します。右の二次元コードよりご覧いただけますようお願いいたします。

お問い合わせ先

徳島県支部  
沖縄県支部  
高知県支部

〒770-8514 徳島市山城町西浜傍示180 徳島キャンパス アカンサス会事務局  
E-mail: acanthus@tks.bunri-u.ac.jp  
TEL・FAX: 088-602-8726 (直)  
【平日】月～木曜日 10:00～14:30 / 金曜日 10:00～14:00

香川県支部  
愛媛県支部

〒769-2193 香川県さぬき市志度1314-1 香川キャンパス  
E-mail: acanthus@kgw.bunri-u.ac.jp  
TEL: 香川県支部 087-899-7403 (就職支援部 近藤)  
愛媛県支部 087-899-7598 (教務部 板東)

詳しくはアカンサス会のホームページをご覧ください。

<https://www.bunri-u.ac.jp/acanthus/>



開催

## 2024年度 保護者会

保護者会は、学生の自己実現を図るため大学と家庭との連携を密にし、その支援の充実を図るために実施されています。

6月の役員総会では、各学科から選出された委員の皆さまにより役員改選や予算および決算報告、事業内容についての審議と決議がなされます。

8月から9月に開催される府県別支部総会では、大学の現状や取り組みについての報告、支部役員改選などが行われ、その後、学業成績や大学での生活面、進路についてチューター・担任・学科教員などとの個別面談や、就職支援部の教職員による就職相談などが行われます。

2024年度は右表のとおり開催予定です。詳細につきましては6月末ごろ、事務局より各ご家庭に案内状をお届けする予定です。

保護者の皆さまから率直なご意見やご要望を伺い、大学と家庭を結び架け橋として、また会員相互のコミュニケーションの場として、保護者会はさらなる充実と発展を図っていきたく考えています。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。



支部総会の様子

2024年度 保護者会支部総会 日程	
支部	開催日時・会場
徳島	8月24日(土) 13:00～ 徳島文理大学 徳島キャンパス
高知	8月25日(日) 13:00～ 三翠園
東海	8月25日(日) 13:00～ 名古屋ガーデンパレス
鳥取・島根	8月25日(日) 13:00～ 松江エクセルホテル東急
愛媛	8月31日(土) 13:00～ ANAクラウンプラザホテル松山
北九州	8月31日(土) 13:00～ 福岡ガーデンパレス
南九州	8月31日(土) 12:30～ ダイワロイネットホテル鹿児島天文館
香川	9月1日(日) 13:00～ 徳島文理大学 香川キャンパス
沖縄	9月7日(土) 13:00～ パシフィックホテル沖縄
	9月8日(日) 13:00～ オキナワグランメーブルリゾート
兵庫	9月7日(土) 13:00～ 神戸三宮東急REIホテル
和歌山	9月7日(土) 13:00～ 和歌山県JAビル
大阪	9月8日(日) 13:00～ 大阪ガーデンパレス
岡山	9月8日(日) 13:00～ ビューアリティまきび
広島	9月15日(日) 13:00～ 広島ガーデンパレス



## 村崎学園紹介



学校法人村崎学園は、1895(明治28)年、創立者村崎サイの「女も独り立ちが出来ねばならぬ」との信念のもと設立されました。その信念は建学精神「自立協同」としてその後の学園経営の基礎となり、またゆるぎない教育の目標として一貫して受け継がれてきています。

学園創立50周年にあたる1945(昭和20)年には、戦火によって総てを失い創立者もまた校舎と運命を共にいたしました。戦野から帰還した前理事長村崎凡人は、サイの意志を承け、学園の復興に精魂を傾け、幼稚園から大学院までを完成し、総合

学園として、独立心と国際性豊かな人材の育成に励みました。

その後、村崎正人理事長は、社会の変化を踏まえた教育の充実を図り、大学において、徳島キャンパスに総合政策学部、香川キャンパスに理工学部・香川薬学部・両キャンパスにまたがる保健福祉学部を設置し、現在では大学・短期大学部合わせて9学部27学科、6大学院、3専攻科、そして5研究所、1相談室を有する文理融合の総合大学へと発展させました。

幼稚園・小学校・中学校・高等学校を擁した学

学園本部お問い合わせ
〒770-8560 徳島県徳島市寺島本町東1-8
TEL : 088-622-0097

園においては、幼稚園から大学院までの一貫教育体制が確立している中で幅広く教育の場を提供しています。優れた教職員と最新鋭の施設・設備の整った「安心」「安全」な教育環境のもと成長を継続して支援することにより社会の多様な要請に応える人材育成に力を注いでいます。

学園は建学精神を体し、それぞれの学校が自立して相互に連携している共同体です。先人の残した精神・教育・伝統のもと、今後とも幼稚園から大学院までの各校が協同し、私学教育発展のためさらなる進歩を続けてまいります。



### ■ 徳島文理大学附属幼稚園 — URL : <http://www.bunri-u.ac.jp/kindergarten/>

本幼稚園は、学園の建学精神である「自立協同」を基本的理念とし、具体的なものとして「健康・知性・徳性」の3つの基本的教育方針を掲げています。それに沿って子どもたちを育成し、徳島文理小学校・中学校・高等学校への教育につなげています。

また、子どもたちが良い環境下で多くのことを経験すれば、子どもたちの能力は驚くほど伸びるものと考え、本園では望ましい環境づくりに全力を尽くしています。大学附属幼稚園としての利点を十分にいかし、充実した施設・設備と優秀な教員がそろった総合大学の協力体制のもと、質の高い保育をめざしています。

さらに、保護者の方とのコミュニケーションを大切に、預かり保育など子育て支援にも力を注ぎ、幼児が家庭から離れて社会生活を開始する第一歩を、安全で安心して踏み出せるようサポートしています。今後とも学園の一貫教育の一翼を担う幼稚園としての責任を果たすべく思っています。

〒770-8055 徳島県徳島市山城町東浜傍示2 TEL : 088-653-4941



### ■ 徳島文理小学校 — URL : <http://bunri-e.ed.jp/>

本小学校では、建学精神「自立協同」をもとに、校訓を「正しく強く美しく」と定め、知・情・意・体の調和のとれた人間性豊かな人材の育成をめざしています。

児童にとって、安全で学びやすく整備された施設・設備の中で、6年間で公立学校の7年間分の授業時数を確保し、本小学校独自のカリキュラムを編成して教育内容を充実しています。具体的には、低・中・高学年別の3つの図書室と学級文庫を利用した読書指導に力を入れ、毎日の日記指導などとも合わせた言語能力の育成をしています。また、最新のタブレット等を導入した情報活用能力の育成にも力を入れています。そして、英語は開校以来、全学年で週2時間を教科として特設し、段階的・発展的に授業を展開しています。高学年では、そのうち1時間をネイティブスピーカーが指導し、将来使える英語の基礎を培っています。さらには、全校茶会や一味会(音楽・英語劇)、古典音読、百人一首、四字熟語・ことわざかるた等々に取り組み、日本の伝統文化にも慣れ親しんでいます。情操面においても、人を思いやる心・あいさつやマナー・感謝の心等を育てることに取り組んでいます。

〒770-8055 徳島県徳島市山城町東浜傍示68-10 TEL : 088-652-5567



### ■ 徳島文理中学校・高等学校 — URL : <http://bunri.ed.jp/>

環境に優しい安心・安全な校舎、充実した施設・設備と本格的な日本庭園、広々とした運動場など、本校の教育環境は理想的なものとなっています。

難関大学・学部に対応した教材と先取り学習によって生じるゆとり、高い目標に向かって切磋琢磨する生徒集団と経験豊富な教職員の信頼関係が、東大19人・国公立大学医学部176人、徳島文理大学195人(過去10年間)に代表される顕著な合格実績を生んでいます。

中高一貫教育のゆとりの中で多彩な活動を積極的に推進しています。語学研修を実施しているシドニー郊外のナラビン校や北京師範大学第二附属中学との友好交流を積極的に推進しています。活躍する部活動を応援し、楽しい部活動も奨励しています。活気溢れる文化祭、クラス一丸となった体育祭や多彩な学校行事は、豊かな社会性を育む機会となっています。

各分野で活躍している卒業生と在校生が、お互いに照らし合い高め合いながら「自立協同」の建学精神を胸に「品位と知性」を行動規範として世界を舞台に、世のため、人のために貢献することを願っています。

〒770-8054 徳島県徳島市山城西4丁目20 TEL : 088-626-1225

## 2023年度末 退職者一覧

### ▶ 大学

- 立山 善康 (一般総合 人文 教授)
- 白杵 道世 (一般総合 自然 准教授・入試広報部副部長)
- 森岡 英之 (人間生活学部建築デザイン学科 教授・建築デザイン学科長)
- 森田 孝夫 (人間生活学部建築デザイン学科 教授・副学長・人間生活部長)
- 河口 雅子 (人間生活学部児童学科 教授・児童学科長)
- 衣川 明美 (人間生活学部人間生活学科 教授B)
- 坂井堅太郎 (人間生活学部食物栄養学科 教授)
- 貴志知恵子 (人間生活学部心理学科 准教授)
- 川端 恵子 (人間生活学部児童学科 准教授)
- 多田 優子 (人間生活学部児童学科 准教授・徳 教務部課長)
- 中村 亨 (人間生活学部児童学科 准教授・全学共通教育センター)
- 那住 公子 (人間生活学部児童学科 准教授)
- 林 向達 (人間生活学部児童学科 准教授)
- 金子紗枝子 (人間生活学部児童学科 講師)

- 小川 直子 (人間生活学部食物栄養学科 講師)
- 前川 優樹 (人間生活学部食物栄養学科 助教)
- 川口 加奈 (人間生活学部食物栄養学科 実験助手)
- 竹原 正也 (薬学部薬学科 講師)
- 太田 紘也 (薬学部薬学科 助教)
- 西川 政善 (総合政策学部総合政策学科 教授)
- 八幡 和郎 (総合政策学部総合政策学科 教授)
- 末原紀美代 (保健福祉学部看護学科 教授)
- 石原 国彦 (保健福祉学部臨床工学科 教授)
- 大岡 裕子 (保健福祉学部看護学科 教授・看護学科長)
- 伴 隆一 (保健福祉学部診療放射線学科 教授)
- 榎 勇人 (保健福祉学部理学療法学科 教授)
- 古川 薫 (保健福祉学部看護学科 准教授)
- 濱田 宣 (文学部文化財学科 教授・文学部長)
- 池田 博昭 (香川薬学部薬学科 教授)
- 藤島 利江 (香川薬学部薬学科 教授)
- 窪田 剛志 (香川薬学部薬学科 助教)

### ▶ 短期大学部

- 坂井真奈美 (生活科学科 教授)
- 石井 信子 (保育科 教授)
- 後藤 立夫 (言語コミュニケーション学科 教授・徳 総務部長)
- 西田 誠 (言語コミュニケーション学科 准教授)
- 生駒 恵子 (商科 准教授B)

### ▶ 事務職員

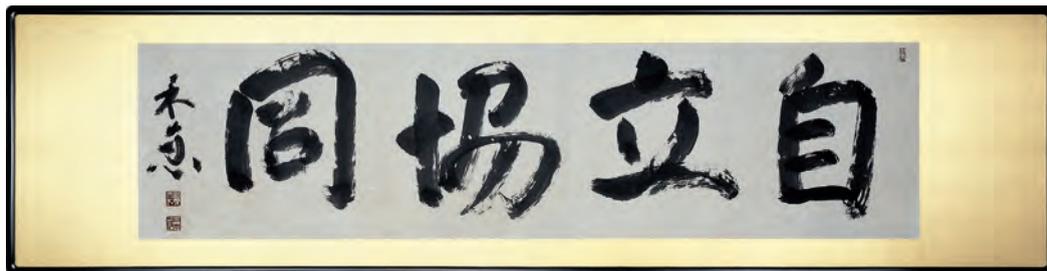
- 岩澤 美恵 (香 学生部保健センター 事務主任)
- 中川 真奈 (入試広報部 事務職員)

### ▶ 附属幼稚園

- 望月奈緒子 (幼稚園 教諭)

### ▶ 年度途中退職者

- 宮内 展代 (人間生活学部食物栄養学科 副手) (2023.9.19 付)
- 赤澤 直紀 (保健福祉部理学療法学科 講師) (2023.9.30 付)
- 山崎 実希 (入試広報部 事務職員) (2023.6.30 付)



## 徳島文理大学の建学精神

徳島文理大学の建学精神は、「自立協同」である。

この建学精神は、学祖村崎サイが明治28年（1895年）7月徳島に私立裁縫専修学校を設立した歴史に由来する。学祖は、「女も独り立ちが出来ねばならぬ」との信念を持ち「女性の自立」を唱えて村崎学園を創立した。昭和20年（1945年）7月、学園は戦火に包まれ灰燼に帰し、村崎サイも学園と運命を共にした。その年の秋、戦野から帰還した村崎凡人前理事長は、学園の復興に精魂を傾け、総合学園の建設を目指した。その過程で、「他からの協力、他への協力をなくして、『人間の自立』はあり得ない。」との確信に至り、学祖村崎サイの精神を受け継ぎ、「村崎学園」の建学精神を「自立協同」としたものである。

この建学精神の意味するところは、成長してゆく人間として、「自立」は重要な到達目的であり、「協同」は「力を合わせて物事をする」となるもので、個としての「自立」は、「協同」すなわち「他からの協力、他への協力」という体験の中で促される。「人」はその体験を通して人間的な成長を遂げる。学園における教養的教育、専門的学術・芸術探求の教育は、まさに「人間の自立」を促す「協同」の場であらねばならない。

爾来、学園はこのような歴史に基づいた「自立協同」の建学精神のもと、教育を推進し、幼、小、中、高、短大、大学、大学院併せて9学部27学科、6研究科、3専攻科、そして、5研究所、1相談室を有する総合学園として発展してきた。

今後とも建学精神のもと、ますます精進し、学術・芸術の探究を通して未来を創造する大学でありたいと願っている。

### 2024 オープンキャンパス日程

徳島キャンパス (11～16時)	4月28日(日)・6月16日(日)・7月14日(日)
	7月27日(土)・8月18日(日)・9月15日(日)
高松駅キャンパス (10～15時) (サンポート高松)	4月27日(土)・6月22日(土)・8月4日(日)
	8月24日(土)・9月22日(日・祝)

### 大学公式 SNS をフォローしよう！

大学の最新情報を随時更新しています！



X (徳島 C)



X (香川 C)



Instagram



TikTok

### 徳島キャンパス (徳島県徳島市山城町)

- 大 学 院……薬学研究科(博士課程)／人間生活学研究科(博士課程)／看護学研究科(博士課程)／総合政策学研究科(修士課程)
- 専 攻 科……人間生活学専攻科(児童学専攻・人間生活学専攻)／助産学専攻科／音楽専攻科(器楽専攻・声楽専攻)
- 薬 学 部……薬学科
- 人間生活学部……食物栄養学科／児童学科／心理学科／メディアデザイン学科／建築デザイン学科／人間生活学科
- 保健福祉学部……口腔保健学科／理学療法学科／看護学科／人間福祉学科
- 総合政策学部……総合政策学科
- 音 楽 学 部……音楽学科
- 短期大学部……商科／言語コミュニケーション学科／生活科学科／保育科／音楽科

### 香川キャンパス (香川県さぬき市志度)

- 大 学 院……薬学研究科(博士課程)／工学研究科(博士課程)／文学研究科(博士課程)
- 香川薬学部……薬学科
- 保健福祉学部……診療放射線学科／臨床工学科
- 理 工 学 部……ナノ物質工学科／機械創造工学科／電子情報工学科
- 文 学 部……文化財学科／日本文学科／英語英米文化学科

### 徳島文理大学ホームページ

<https://www.bunri-u.ac.jp>



**校章の由来** …Acanthusとは、アカンサス属の一種、アカンサス・モルリスの葉で、別名ハアザミ。その刺は、事に当たって厳正、的確に処理する優れた知性を、その葉は古代ギリシャの美または芸術に通ずる豊かな情操を具象化し、本学の建学精神である「自立」を具現化した科学と芸術を示すものとして校章に制定されました。



(公式 HP)  
QRコード